



高田観桜会・ブルーインパルス展示飛行



こんにちは！高田所の本間非常勤です。皆さんいかがお過ごしですか？

私は、現職時代に航空自衛官の通信職種で佐渡市のレーダーサイト勤務をしていました。航空自衛隊には多くの思い出があり、みなさんに少しでも多く航空自衛隊の仕事について知っていただければと思います。

今回は、4月10日に第97回高田城址公園観桜会及び上越市合併50周年を記念して行われたブルーインパルスによる展示飛行を題材に、自衛隊唯一のアクロバットチームとして名高いブルーインパルスの素晴らしい飛行を支える隊員たちをご紹介します。

展示飛行の編隊は宮城県にある航空自衛隊松島基地から直接飛来しました（なんと片道25分ほどだそうです）が、その他にも現地には地上班が先行しています。こちらは展示飛行班との通信や会場のナレーション、気象観測などを行うチームです。今回は飛行隊長以下パイロット2名と整備士2名も地上班に参加し、こちらの4名でトークショーも開催されました。

（トークショーの様子は地本Twitter、Instagramをご覧ください）



↑ 飛行隊と通信を行う飛行隊長。



↑ ナレーションを行う飛行隊員。タイミングもぴったりです。



↑ 気象班。天候や風向など、飛行に重要なデータを集めます。



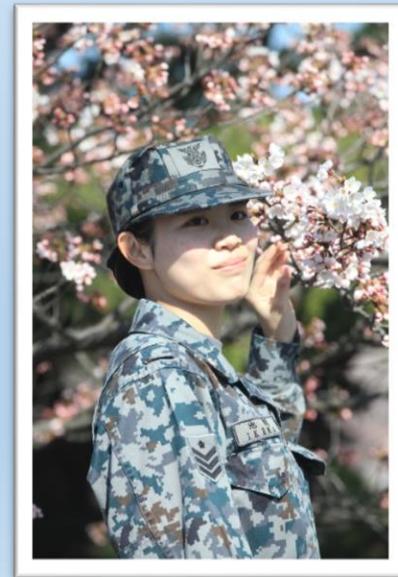
こちらは地上班の写真です。来場者に展示飛行を楽しんでいただけるよう、綿密な調整と準備がなされていました。当日は快晴と満開の桜の中大勢の観客が訪れ、展示飛行は大成功でした！

ブルーインパルスBlue Impulseの展示飛行はパイロット以外にも、このように多様な職種の隊員たちのサポートによって実現しています。皆さんも、航空自衛隊の一員となって働いてみませんか？

自衛隊は多種多様な職域・職場で働くことができます。興味が湧いたら、まずはお近くの地域事務所までお問い合わせください♪



← 通信班。飛行隊との通信を確立します。



↑ 高田の桜も楽しんで頂けました（^^）